

# 読書のすゝめ

その1

H 29 4 / 10

## 入学・進級おめでとう！

平成29年度のスタートです。  
新入生のみなさんは期待とともに、不安やとまどいも多いことと  
思いますが、新しい環境に一日も早く慣れて、充実した高校生活が  
送れますことを祈念しています。2・3年次生も今は一歩でも前に  
進むことです。目標に向かって励んでいきましょう。  
銚二図書館は、みなさんの「知」のサポートと「情」の成長のた  
めに、書籍の購入や学習環境の整備に力を入れていきます。本年度も不定期発行ではありますが、  
新着図書を紹介のほか、役立つ情報提供に努めていきたいと思えます。図書館は管理棟4階にあ  
り、教室からは遠いのですが、ペランダから市内が一望でき、筑波山や富士山を望むことができ  
ます。ぜひ利用ください！



## 図書館にキリン？

副技師の小室さん・菅原さんの手作りですばらしいディスプレイが登場しました。  
創造と想像にわくわくの館内です。



### 図書館担当の先生紹介

井坂悦子（国語）・市村健一（理科）  
門井功（理科）・藤倉久恵（家庭）  
坂場祐太（事務）

\*他に図書委員会担当の先生方がいます。

開館時間 昼休み（12時45分～13時20分）

放課後（15時35分～17時）

【朝も7時50分くらいから開館しています】

## 新着図書から

『本を守ろうとする猫の話』夏川草介（幻冬舎）



夏木林太郎は、書店を営む祖父と二人暮らしをしてきた高校  
生である。祖父が突然亡くなり、面識のなかった伯母に引き  
取られることになり、本の整理をしていた時に、人間の言葉  
を話すトラネコと出会う。トラネコは、本を守るため林太郎  
の力を借りたいのだという。



\*「本にはたくさん人の思いが描かれています。苦しんでいる人、悲しんでいる人、喜んでい  
る人、笑っている人……。そういう人たちの物語や言葉に触れ、一緒になって感じることで、僕  
たちは自分以外の人の心を知ることができると感じます。身近な人だけじゃなくて、全然違う世界  
を生きている人の心さえ、本を通して僕らは感じることができるようになるんです。」  
\*「人を思う心」、それを教えてくれる力が、本の力だと思えます。その力が、たくさん  
人を勇気づけて支えてくれるんです。」  
\*「読んで難しいと感じたなら、それは柚木にとって新しいことが書いてあるから難しいんだ。  
難しい本に出会ったらそれはチャンスだよ。」「く 難しいってことは新しいことが書いてあ  
るって証拠だよ。」【本文抜粋】

・ ・ ・ 示唆に富む文章にはっとさせられます。

☆ みなさんの「かへくへくきびせ」の物語（つばね）の旅。水先案内人として銚二図書館は活動してい  
ます！